



12月号

学校だより

令和4年11月30日

横浜市立南小学校

校長 薄田 秀明

「人と人とのかわり」

がっこうちょう うすだ ひであき
学校長 薄田 秀明

きた くに はつゆき たよ とど きせつ ふか あき なか みなみしょう こ えんそく しゃかいが
北の国から初雪の便りの届く季節となりました。深まりゆく秋の中、南小の子どもたちは、遠足、社会科
けんがく おんがくかい かんしょう こうがい かつどう め かが まな
見学、音楽会、バレエ鑑賞と校外での活動にも目を輝かせて学んでいます。

さて、すでにご存知のように、電車の乗ると目の前に座っている乗客の多くがスマートフォンや携帯電話に
ふ かく か てんしゃない ほな せいげん わかもの おとな もくもく なに う
触れています。コロナ禍にあって、電車内で話すことも制限され、若者だけでなく、大人も黙々と何かを打た
り、音楽を聴いたりしている姿が増えたように思います。遠足や校外学習の引率で電車に乗ると、混雑する
おんがく き すがた ふ おも えんそく こうがいがくしゅう いんそつ てんしゃ の こんざつ
車内であっても、その光景を目の当たりにしています。

がいこく にほん き ひとひと こうけい ふ しぎ おも にほんじん いぞん
外国から日本にやって来た人々は、その光景を不思議に思い、「日本人はスマホに依存しすぎではないで
すか」「携帯はもっていますが、メールより直接話すことの方が多ですよ」などの感想をもつそうです。

この光景は、私たちが日常の生活の中で、直接相手の話を聴いて、瞬時に自分の気持ちや意見を伝え
る機会が減少し、それ以外の方法を利用することが、当たり前になりつつあるということでしょうか。

あいて はなし き そくざ じぶん ほんのう かせ ゆうき ひつよう あいて
相手の話を聴いて、即座に自分の反応を返すには、かなりのエネルギーと勇気が必要です。相手がい
じぶん
自分がある。そして、両者の間で相手からのメッセージがこちらに伝わり、こちらからのメッセージが相手に
つた
伝わるという両方向がスムーズに行われるといいのですが、これは、とても大変な作業です。そのため、自分
つた りょうほうこう おこな
が送りたいときにメールを送る、また、誰かからメールを着信しても直接の会話ではないので、自分が返した
おく
いときに返信するという一方通行的で、瞬間に直接かかわらなくて済む方法が普及したのは間違い
へんしん いっぽうつうこうてき しゅんかん しゅんかん ちやくせつ す ほうほう ふきゅう まちが
ありません。それも時と場合によって便利なツールにもなっているのが現状で、否定するつもりはありません。

ひと ちやくせつ あ てまひま かいわ つく あ なか あいて かんけい きず たが おも
人は、直接会って、手間暇をかけて、会話を作り上げていく中で、相手とのよい関係を築いたり、互いに思い
あ
合ったりすることを学びます。人と直接かかわることの楽しさを知らない人やその価値を感じない人が世の
あ
中の多くを占めることがないよう、今まで以上に直接かかわること、顔を見て(マスクを付けていても)会話を
なか おお し いま いじょう ちやくせつ かおみ つ
することを大切にしなければならないと思います。

がっこう
学校においても、コミュニケーション能力や言語能力の育成、体験活動の充実が今まで以上に重要視さ
れていきます。遠足、社会科見学、音楽会、バレエ鑑賞など、直接触れ合う、対面する、体験するという学びをこ
えんそく しゃかいがけんがく おんがくかい かんしょう ちやくせつ ふ あ たいめん たいけん まな
れからも価値あるものと位置づけ、大切にしたいと考えています。

しわす むか あわ とし す ことし ねん し あたら とし むか
師走を迎え、慌ただしく時が過ぎていきますが、今年1年の締めくくりをしっかりと、新しい年に向かってい
きたいと思います。

がつ ほんこう きょういっかつどう りかい きょうりよく ねが
12月も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。